



2005年
(平成17年)
5/10
第1435号

あだち 広報

●発行/足立区 ●編集/広報課
〒120-8510 足立区中央本町1-17-1

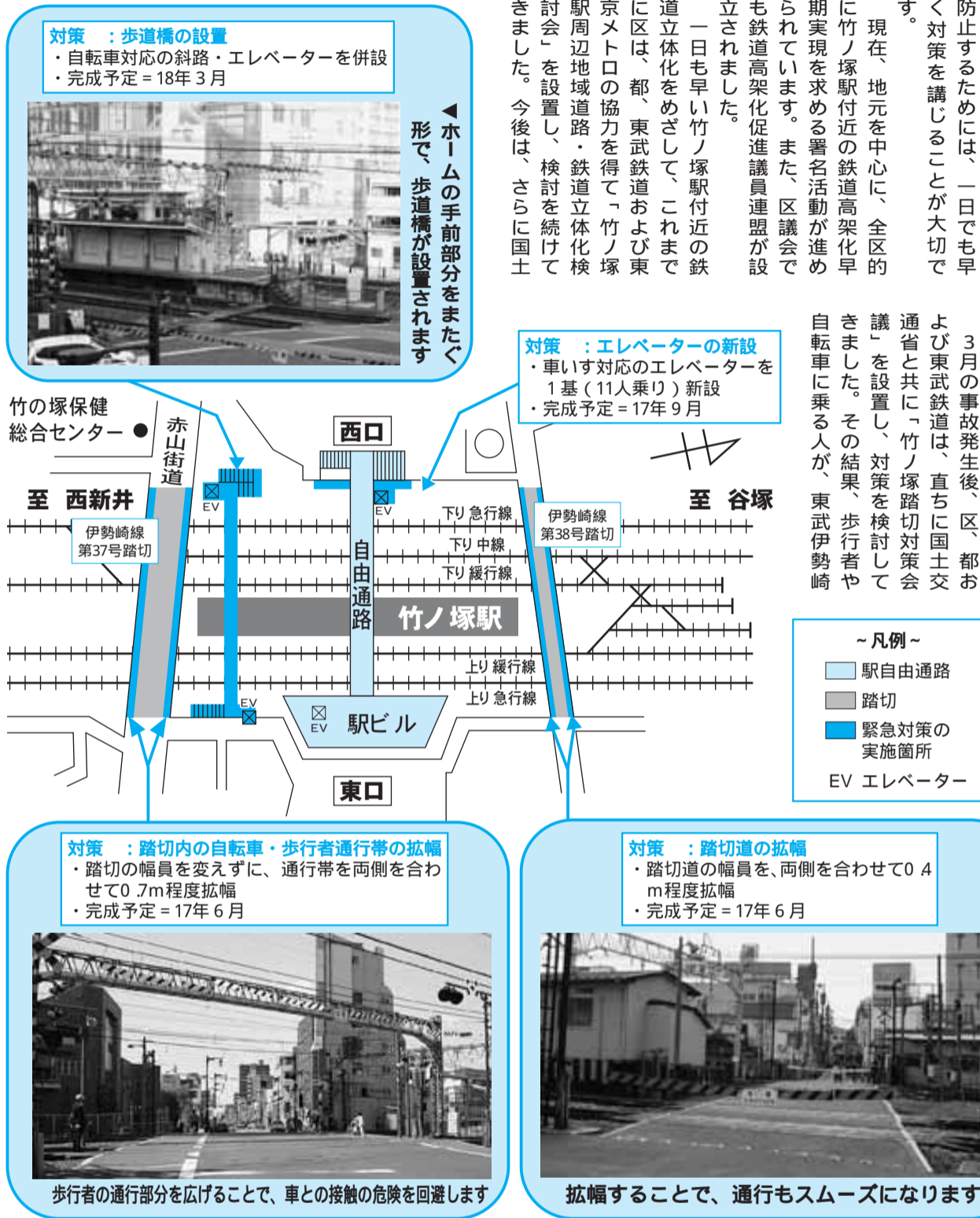
☎3880-5111(代)

FAX 3880-5610(広報課)

http://www.city.adachi.tokyo.jp/

あだち広報は毎月10日・25日、
ズームアップは6・8・10・1・3月発行

図1 竹ノ塚駅付近の緊急踏切対策



対策：歩道橋の設置
・自転車対応の斜路・エレベーターを併設
・完成予定=18年3月



ホームの手前部分をまたぐ形で、歩道橋が設置されます

対策：エレベーターの新設
・車いす対応のエレベーターを1基(11人乗り)新設
・完成予定=17年9月

3月の事故発生後、区、都および東武鉄道は、直ちに国土交通省と共に「竹ノ塚踏切対策会議」を設置し、対策を検討してきました。その結果、歩行者や自転車に乗る人が、東武伊勢崎線

事故のないまちをめざして

毎日多くの人がこの踏切を利用しているため、事故の再発を防止するためには、一日でも早く対策を講じることが大切です。現在、地元を中心に、全区的に竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現を求める署名活動が進められています。また、区議会でも鉄道高架化促進議員連盟が設立されました。

一日も早い、竹ノ塚駅付近の鉄道立体化をめざします

交通省の参加を得て、検討体制の強化・充実に努めます。

竹ノ塚駅付近で緊急踏切対策を行います

線を挟んで竹ノ塚駅の東西を、より安全に行き来できるようにするための緊急避難的な措置として、次の対策を早急に行うことと合意しました(図1)。

◆駅南側の踏切(伊勢崎線第37号踏切)に歩道橋を設置します(図中)

◆駅北側の踏切(伊勢崎線第38号踏切)を拡幅します(図中)

◆竹ノ塚駅西口に車いす対応のエレベーターを設置します(図中)

◆駅北側の踏切(伊勢崎線第38号踏切)を拡幅します(図中)

この歩道橋には、自転車対応の強化・充実に努めます。

自由通路をバリアフリー化します。完成は9月の予定です。

完成は6月の予定です。なお、とについては、区と東武鉄道が共同で行います。

と東武鉄道が共同で行います。とについては、東武鉄道が行います。これらすべての対策に掛かる概算費用は、5億円程度と見込んでいます。このほか、新設する歩道橋や駅西口のエレベーターへの案内看板を設置するなど、情報の提供にも努めていきます。

工事は、関係者や近隣の方の理解と協力を得ながら、できるだけ早く着手すると共に、工事期間の短縮に努めます。工事期間中はご迷惑をおかけしますが、区民の皆さんのご協力をお願いします。

竹ノ塚駅付近の鉄道立体化に関するお問い合わせは、都市整備部立体化担当へ
☎(3880)5932

今号の主な内容

- 2・3面 保健福祉ガイド/人権と同和問題の理解のために
- 4・5面 音楽で彩るまち足立/子育てを応援します
- 6・7面 暮らしの情報/催し物ガイド/こんなとき、あなたなら/映像広報番組案内
- 8面 民生委員特集/スケッチあだち

区長へのファクス

FAX 3880-5678
「区民の声」をお待ちしています

竹ノ塚駅付近の鉄道立体化を、国土交通大臣に要望しました

鈴木恒年区長は、4月6日に都へ、翌7日には、区議会の田中章雄議長、藤崎貞雄副議長、鈴木進議会運営委員長、地元代表者らと共に国土交通省に赴

き、東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道立体化を要望しました。鈴木区長は、北側一雄国土交通大臣に要望書を手渡し、「国の力を貸してほしい。現在、足立区、東京都および鉄道事業者で行っている検討会に、国も参加し、ぜひ一緒に検討して欲しい」と要請しました。

これに対し北側大臣は、「連続立体化に向けて進めていかなければならない」と話し、国も検討会に参加することを約束しました。

要望書を北側大臣に手渡す鈴木区長。今後は立体化に向けて国を含めた検討が行われます

